

佐賀県立夜間中学設置の基本的な考え方

令和4年11月

佐賀県教育委員会

目 次

夜間中学とは

- 夜間中学について
- 全国の設置状況について
- 佐賀県立夜間中学の設置について

佐賀県立夜間中学設置の基本的な考え方

- 1 設置場所
- 2 開校時期
- 3 対象生徒
- 4 目指す学校の姿
- 5 学校づくりの視点
- 6 学校体制
- 7 教育課程等
- 8 修業に関すること
- 9 通学区域
- 10 学校給食
- 11 教員研修
- 12 関係機関との連携

参考

- ・ 資料 1 夜間中学校アンケート調査結果（令和3年度実施）
- ・ 資料 2 夜間中学設置に係る検討について
- ・ 資料 3 佐賀県夜間中学設置検討委員会委員
- ・ 資料 4 夜間中学設置・検討状況（令和4年10月）

夜間中学とは

○ 夜間中学について

夜間中学とは、義務教育を修了しないまま学齢期を経過した方や、不登校など様々な事情により十分な教育を受けられないまま中学校を卒業した方、本国や日本で十分に義務教育を受けられなかった外国籍の方などを対象に夜間その他の特別の時間において授業が行われる学校のことです。

平成 28 年 12 月に「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」（以下、「法律」という。）が成立し、地方公共団体は夜間中学における就学の機会の提供その他の必要な措置を講ずることが求められています。

○ 全国の設置状況について

令和 4 年 1 0 月現在、公立夜間中学は 1 5 都道府県に 4 0 校が設置されています。法律公布（平成 28 年 12 月）以後、全国に 9 校の夜間中学及び夜間学級が設置され、このうち令和 3 年 4 月に徳島県、高知県において県立の夜間中学が開校しました。また、九州では令和 4 年 4 月に福岡市立福岡きぼう中学校が開校しています。

令和 4 年 1 0 月現在、1 6 府県（既に設置済 4 府県含む）に 1 7 校の夜間中学が開校予定又は新設検討中とされています。

○ 佐賀県立夜間中学の設置について

夜間中学に関するニーズ調査により、様々な理由で義務教育を修了せずに学齢期を経過した方など、多様な方々が夜間中学での学びを希望されていることが確認されました。

このような方々のニーズに応え、誰もが義務教育の段階における普通教育に相当する教育を受ける機会が得られるよう、佐賀県立の夜間中学を設置します。

佐賀県立夜間中学設置の基本的な考え方

1 設置場所

佐賀県立佐賀北高等学校 通信制校舎内（佐賀市天祐二丁目）

2 開校時期

令和6年4月

3 対象生徒

佐賀県内に居住し、以下のいずれかに該当する方

- ・ 様々な理由で義務教育を修了せずに学齢期を経過した方
- ・ 不登校などで十分な教育を受けられないまま中学校を卒業した方
- ・ 日本の義務教育を受けることを希望する外国籍の方

4 目指す学校の姿

一人一人の個性や多様な価値観を尊重し、それぞれの目標に向かって進む生徒を応援する。

5 学校づくりの視点

- ・ 生徒の想いに応える授業や体験活動の充実
- ・ 多様性の尊重と個々のニーズや事情への柔軟な対応
- ・ 誰もが安心して学ぶことができる教育環境の整備

6 学校体制

（1）生徒数

1学年20人、合計60人程度

（2）教職員

校長、教頭、教諭等、生徒数に応じた教職員を配置する。日本語指導担当教員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの他、必要に応じて非常勤講師等を配置し、生徒の学校生活を支える体制を整える。

7 教育課程等

中学校学習指導要領に基づいた教育課程を編成するとともに、生徒の学びの状況に応じた特別の教育課程を編成する。

(1) 授業時数

- ・年間総時数を700時間程度とする。(通常の中学校の授業時数は約1,050時間)
- ・月曜日から金曜日まで、1時限あたり40分の授業を4時限行う。週当たりの授業時数は20時間とする。

(2) 学級編制

- ・1学年1学級程度、3学年とする。
- ・必要に応じて日本語指導を行う。

(3) 授業の実施方法

- ・対面による授業を基本とする。
- ・生徒一人一人の状況に応じた授業を実施するため、ICTを活用する。
- ・オンラインを活用した授業(オンデマンド動画等)の実施についても、今後検討する。

(4) 生徒に応じた学習指導

- ・日本語指導
- ・小学校段階の学習
- ・課題や補習等による柔軟な対応

(5) ICTを活用した教育

1人1台学習用端末の整備

8 修業に関すること

(1) 学年

入学者の学習履歴や希望等に応じて、2年生や3年生からの入学も可能とする。

(2) 修業年限

3年を基本とする。最長6年までの在籍を可能とする。

(3) 入学時期

- ・ 4月入学を基本とするが、9月までの入学を可能とする。
- ・ 入学を希望する場合は、随時、面接及び体験入学を行う。

(4) 進級

進級については、生徒との面談や平素の学習状況等を踏まえ、校長が判断する。

(5) 卒業

卒業の認定については、生徒との面談や平素の学習状況等を踏まえ、校長が判断する。

(6) 休業

一定期間通学が困難な状況が発生した場合は、学校と相談の上、休学を可能とする。

9 通学区域

佐賀県内全ての市町から入学可能とする。

10 学校給食

多様な生徒が集まる夜間中学では、必要な食事の内容や適切な栄養摂取量等がそれぞれ異なることから、学校給食は実施しない。

11 教員研修

授業力向上、生徒指導及び教育相談等に係る研修を計画的に実施するとともに、先行事例等の情報を積極的に収集し、指導の充実・改善を図る。

12 関係機関との連携

不登校経験者や外国籍の方などの学校生活を支援するため、市町教育委員会や中学校の他、様々な関係機関・関係者と連携を図りながら、より良い学校づくりを行う。

夜間中学校アンケート調査結果

佐賀県教育庁振興課実施分

1. 調査期間

令和3年9月上旬から令和3年10月31日まで

2. 調査方法

- ・アンケートを公共施設等に設置し、郵送はがきまたはインターネットで回答
- ・佐賀県教育委員会のホームページにアンケートを掲載し、インターネットで回答

3. 対象

日本国籍の方（外国籍の方への調査は国際課で実施）

4. アンケート配布及び掲載先

- ・市役所や役場、公民館などの市町の施設
- ・ハローワーク
- ・保健福祉事務所、児童相談所
- ・NPO法人
- ・県庁「行政の窓口」
- ・佐賀県教育委員会ホームページ

5. 回答数

299件（はがき225件、インターネット74件）

6. 調査結果（単位：人）

① 日本国籍の方ですか。

はい	いいえ	無回答
278	3	18

② あなたは、夜間中学で学んでみたいと思いますか。

（または、夜間中学を勧めたい人があなたのまわりにいますか。）

自分が学んでみたい	身近にいる	学びたいと思わないし、まわりにもいない	無回答
29	67	193	10
【合計】 96人			

③ 夜間中学で「自分が学んでみたい」、「身近にいる」という回答（96件）の内訳

ア 住所

佐賀市	22	鹿島市	4	上峰町	1	白石町	13
唐津市	7	小城市	2	みやき町	1	太良町	1
鳥栖市	13	嬉野市	2	玄海町	0	松浦市	1
多久市	1	神埼市	1	有田町	4	平戸市	0
伊万里市	4	吉野ヶ里町	7	大町町	0	大川市	1
武雄市	3	基山町	7	江北町	0	無回答	1

イ 年齢

16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～	無回答
6	8	16	24	18	23	1

ウ 学歴（中学校を卒業しているか）

はい	いいえ	わからない	無回答
68	18	9	1

エ 学びたい（学ばせたい）理由

中学校を卒業していないから	中学校を卒業したが、学びなおしをしたい（してほしい）から	高等学校に入学したい（させたい）から	読み書きができるようになりたい（なってほしい）から	その他	無回答
3	45	15	10	19	4

佐賀県国際課実施分（外国籍住民アンケート調査）

1. 調査期間

令和3年9月上旬から令和3年11月30日まで

2. 調査方法

ウェブアンケート調査

- ・ 回答は無記名とする。
- ・ 対象者へ郵送にてアンケート調査の依頼を行う。対象者は、依頼の紙面から二次元コードの読み取り等によりウェブアンケートに回答する。
- ・ アンケートは、11言語（ベトナム語、簡体中国語、繁体中国語、韓国語、インドネシア語、ネパール語、ミャンマー語、英語、タイ語、クメール語、やさしい日本語）に対応する。

3. 対象

佐賀県内に居住する15歳以上の全ての外国籍住民（令和3年8月1日現在）約7,000人

4. 回答数

860件

5. 調査結果（単位：人）

① あなたは、中学校（日本、またはあなたの国の義務教育過程）を卒業していますか。

はい	いいえ	現在通っている	無回答
687	136	5	32

② あなたは、夜間中学があれば、通いたいですか。

はい	いいえ	無回答
107	659	94

③ 夜間中学で「自分が学んでみたい」という回答（107件）の内訳

ア 住所

佐賀市	44	鹿島市	2	上峰町	0	白石町	0
唐津市	17	小城市	3	みやき町	1	太良町	1
鳥栖市	14	嬉野市	1	玄海町	0		
多久市	4	神埼市	4	有田町	3		
伊万里市	5	吉野ヶ里町	0	大町町	0		
武雄市	5	基山町	1	江北町	0	無回答	2

イ 年齢

15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～	無回答
1	53	31	14	4	0	4

ウ 夜間中学に通いたいと思う理由

中学校を卒業していないから	中学校を卒業したが、学びなおしをしたいから	日本の高等学校に入学したいから	読み書きができるようになりたいから	その他	無回答
1	7	5	90	4	0

夜間中学設置に係る検討について

1 夜間中学に関する意見交換会

日時 令和4年5月26日（木）13時30分～15時00分

場所 佐賀県庁特別会議室

- 内容 (1) 夜間中学に関する概要説明
(2) 福岡市立福岡きぼう中学校の紹介（オンライン）
(3) 意見交換

【主な意見】

- ・交通インフラの利便性を考えれば、佐賀市内への設置が望ましい。
- ・広域からの生徒受入れ、教職員の配置、多様なニーズへの対応等の観点から、県立での設置が望ましい。
- ・多様な生徒の学びに対応できるよう、学習内容は弾力的に考える必要がある。
- ・オンライン授業やサテライト方式を有効に活用できないか。
- ・生徒のサポート体制（スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー）を充実させる必要がある。

2 第1回佐賀県夜間中学設置検討委員会

日時 令和4年6月27日（月）16時00分～17時15分

場所 佐賀県庁大会議室

- 内容 (1) 県教育委員会あいさつ
(2) 佐賀県夜間中学設置検討委員会について
(3) 説明・協議
「佐賀県における夜間中学の考え方について」（たたき台）

【検討内容及び主な意見】

○佐賀県における夜間中学の枠組みについて

- (1) 入学対象者
 - ・一般的には夜間中学において学齢生徒の受入れはないが、受入れをする場合は十分な検討が必要である。
- (2) 教育課程
 - ・夜間中学は一般的な中学校より授業数が少ない。教育課程の特例でカリキュラムの設定などどこまで柔軟な対応ができるのか確認する必要がある。
- (3) 授業の実施方法について
 - ・オンラインでの授業は、現在の文科省の制度では認められていない。サテライトで授業を受ける側に教員を配置できれば授業として成立するが、自宅でのオンライン授業は認められていない。

(4) 生徒の実情に応じた学習指導について

- ・ICT活用により一人一人の学習状況に応じた個別指導が必要になるのではないか。
- ・学びの状況が違う生徒が入学してくるので、スタートする学年や進級、卒業について柔軟な対応が求められる。

3 第2回佐賀県夜間中学設置検討委員会

日時 令和4年10月5日(水) 15時00分～16時15分

場所 佐賀県庁大会議室

内容 (1) 県教育委員会あいさつ

(2) 説明・協議

「県立夜間中学設置の考え方について(案)」

【検討内容及び主な意見】

○県立夜間中学設置の考え方について

(1) 対象生徒

- ・県教育委員会の原案のとおりでよい。

(2) 学校体制

- ・関係団体と連携するなど生徒を支える組織的なバックアップ体制が必要ではないか。
- ・小学校段階での学習が必要になるので、小学校での勤務経験がある方を配置したほうがよい。
- ・退職後に新しいチャレンジとして夜間中学で勤務を希望する方を配置することも考えられる。

(3) 教育課程等

- ・生徒のニーズに応えるためには、学習履歴を把握する必要がある。市町教育委員会や学校と連携することも考えられる。
- ・日本語指導を行う教員は専門の研修が必要になる。
- ・将来的にはサテライト校のようなものができればいいが、すぐには難しいだろう。

(4) 修業に関すること

- ・入学時期は4月と9月の2回としたほうがよい。学び直しという観点や外国籍の生徒の入学を考えると9月入学は非常に有効である。
- ・開校年度は9月入学とし、4月から8月までは開校の準備や体験入学の期間としてはどうか。

(5) 関係機関との連携

- ・入学してくる生徒像を想定して、あらかじめ準備をしておく必要があるだろう。スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーも含めて、スタート時からバックアップできる体制を整えておく必要がある。

佐賀県夜間中学設置検討委員会委員

氏名	所属・役職
松尾 敏実	佐賀大学大学院学校教育学研究科 教授
谷口 仁史	スチューデント・サポート・フェイス 代表理事
黒岩 春地	佐賀県国際交流協会 理事長
杉崎 士郎	嬉野市教育委員会 教育長
中村 祐二郎	佐賀市教育委員会 教育長
天野 昌明	鳥栖市教育委員会 教育長（～R4.10.4）
末次 利明	神崎市教育委員会 教育長（R4.10.5～）
松本 定	伊万里市教育委員会 教育長
中島 安行	玄海町教育委員会 教育長
牟田 禎一	神崎市立神崎中学校 校長
落合 裕二	佐賀県教育委員会 教育長

夜間中学設置・検討状況 令和4年（2022年）10月

●…【設置済】15都道府県34市区に40校

★…【開校予定・新設検討中】16府県（既に設置済4府県含む）に17校

□…県立

□…県立で開校予定・新設検討中

